

## 成田赤十字病院を受診された入院・外来患者さんへ

当院では下記の研究を実施しております。本研究の対象者に該当する方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

	高齢間質性肺疾患患者の入院関連障害の発生率とその臨床的特徴 -単施設前後方視的観察研究-
当院の研究責任者	矢萩 貴紀(リハビリテーション科)
本研究の目的	間質性肺疾患患者急性増悪後の管理は、集学的治療が必要とされ入院が余儀なくされます。入院となると、入院加療中に身体機能や ADL・QoL の低下が懸念され、生命予後への関連も示されています。そこで、当院における、高齢間質性肺疾患患者における入院関連障害の発生率を調査し、その特徴を明らかにすることを目的としています。
研究の方法 (使用する試料等)	<p>●対象となる患者さん 当院呼吸器内科に間質性肺疾患にて入院した65歳以上の連続症例。</p> <p>●利用する情報の項目 入院患者さん対象</p> <p>① 診療記録より以下の情報を使用します。 被験者背景・疾患名・併存疾患・血液検査・肺機能検査・6分間歩行試験による経皮的酸素飽和度・呼吸困難感・6分間歩行距離・身体機能・認知機能・在宅酸素療法有無・入院前の日常生活動作・退院時の日常生活動作・入院前のフレイルの有無(基本チェックリスト)・入院時呼吸管理デバイス</p> <p>② 入院時の診療録より 理学療法士が、リハビリテーション終了時に上記情報項目を使用します</p> <p>●開始予定日 令和8年3月1日開始予定、対象期間は令和8年3月1日から2年間</p>
試料/情報の他の研究機関への提供および提供方法	本研究は当院のみで行われる研究のため、当院外への試料および情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除されます。また、研究成果は学会等で公表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究は研究資金を必要とせず、実施にあたり利益相反の管理が必要となる企業・団体はない。本研究者は、利益相反状況について成田赤十字病院倫理委員会に必要事項を申告し、審査と承認を得ている。
研究への不参加の自由について	研究に参加しなくても、あるいは参加を途中で取りやめても不利益を被ることはない。
研究実施医療機関の長の氏名	成田赤十字病院 院長 青墳信之
お問い合わせ先	成田赤十字病院 リハビリテーション科 矢萩貴紀 電話番号:0476-22-2311(代表番号)